

第 33 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会

北海道代表決定戦 道央ブロック大会 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ると共に、JFA バーマントカップ第 33 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会北海道代表決定戦の道央ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 JFA 第 33 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道代表決定戦
道央ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 小樽地区サッカー協会
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、**倶知安町教育委員会**
6. 期 日 2023年3月4日(土)～3月5日(日)
7. 会 場 倶知安総合体育館
虻田郡倶知安町南3条西4丁目3 TEL: 0136-22-2288
8. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル 4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - (2) サッカーチームの場合
JFA に「4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - (3) 前項の(1)と(2)のチームに該当する選手のうち、U-6 カテゴリーに属する選手と小学6年生の選手の参加は認めないものとする。
 - (4) 本大会への上場可能選手は、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、小学校に在籍する5年生以下の選手であれば、この年齢制限を適用しない。
 - (5) 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする(準加盟チームを除く)。
 - (6) 本大会の地区予選を通して、選手は他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (7) 前項の(1)～(6)の選手は、男女の性別を問わない。
 - (8) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (9) 各地区の予選大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000 円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000 円
9. 参加チーム及びその数 参加チーム数は、次により選出された 16 チームとする。
各ブロックの出場枠は次のとおりとする。
千歳地区 4 チーム、小樽地区 4 チーム、空知地区 4 チーム、北空知地区 4 チーム。
10. 大会形式
 - (1) 1 グループ 4 チームとして 4 グループで 1 次ラウンド(総当たり戦)を行う。
 - (2) 決勝ラウンドは、1 次ラウンド各グループの 1 位、2 位チームが出場するノックアウト方式で行う。
 - (3) 3 位決定戦(第 3 代表決定戦)を行う。
 - (4) 交流トーナメントは、1 次ラウンド各グループの 3 位のチーム 4 チーム、各グループの 4 位のチーム 4 チームでトーナメント戦を行う。

- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった 場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) 1 次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目により順位を決定する。
- ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点
 - ④ グループ内の得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告 1 回 1 ポイント
 - (イ) 警告 2 回による退場 3 ポイント
 - (ウ) 退場 1 回 3 ポイント
 - (エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント
 - ⑦ 上記①～⑥の全項目において同一の場合は、PK 方式(1 チーム 5 名による 5 本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

11. 競技規則
12. 競技会規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。
以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ
- ・大きさ : サイズは原則として、32m×16m
 - ・センターサークル : 半径2.5m
 - ・ペナルティーエリア四分円の半径 : 5m
 - ・ペナルティーマーク : 5m
 - ・DFKSAFマーク : 8m
 - ・ペナルティーエリア内(DFKSAF)マーク:4m
 - ・交代ゾーンの長さ : 4m
 - ・タイムキーパーの机の前のエリア : ハーフウェーラインの両端からそれぞれ 4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
- ・フリーキック : 4m
 - ・コーナーキック : 4m
 - ・キックイン : 4m
- (3) 使用球は、フットサル 3 号球とする。
- (4) 競技者の数
- ・競技者の数 : 5 名
 - ・交代要員の数 : 10 名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 : 2 名以内
- (5) チーム役員の数 4名以内
- (6) ユニフォーム
- ① JFA のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい 正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。

- ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のシャツ(ビブスなど)で代用することができる。
 - ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑥ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑦ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑧ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ⑨ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑩ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑪ その他のユニフォームに関する事項については、JFAの「ユニフォーム規程」に則る。
 - ⑫ ユニフォームにゼッケン(張り番)が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。
- (7) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。
- (8) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間
- ① 1次ラウンド(総当たり戦)は、24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のランニングタイムとする。
 - ① 決勝ラウンド(トーナメント方式)は、準々決勝戦及び決勝戦を24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のランニングタイム、準決勝戦及び第3代表決定戦は20分間(各10分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとする。
 - ② 予選ラウンド及び決勝ラウンドのうち準々決勝戦のハーフタイムのインターバルは3分間、準決勝戦、第3代表決定戦及び決勝戦は5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。
- (10) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 決勝ラウンドにおいて、勝敗が決しない場合は、PK方式(5人)により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ③ 準決勝戦および第3代表決定戦において勝敗が決しない場合は、6分間(各3分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムの延長戦を行い、なおも決しない場合はPK方式(5人)により決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (11) タイムアウトは準決勝戦および第3代表決定戦を除いて適用しない。

13. マッチウェルオフィサー
14. 懲 罰

決勝・準決勝及び第3代表決定戦にマッチウェルオフィサーを配置する。

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る 懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。(ただし、JFA バーモントカップ 第33回 全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦出場チームはこの大会で行うこと。)
- (6) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5又はその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (7) 本大会の大会規律委員会は、警告の累計2回による退場処分、及び出場停止処分1試合までの懲罰問題を処理する。
- (8) 大会規律委員会の委員長は、本大会の競技委員長とし、委員は2名以上で構成すること。
- (9) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

15. 参 加 料
16. 参 加 申 込

参加料 13,000円(消費税込)

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名を上限とし、選手は本大会の地区予選に登録していること。ただし、3名を上限に地区予選に登録していない選手を記載できる。その場合、「8.参加資格」に定める要件を満たしていなければならない。
- (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに所属地区サッカー協会を通じて申込先(A)にE-mailで送付すること。
※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料13,000円(消費税込)は当日の受付時に納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)に送付すること。なお、2022年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 申込締切日 2023年2月27日(月) 17時まで 厳守
- (6) 上記(5)申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の必要上、自粛等が発生した場合は、追加・変更を認める。申請については、所定の用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)の主管地区サッカー協会宛てにE-mailで送付すること。追加・変更の手続きの期限は2023年3月1日(水)17時までとする。
- (7) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (8) 申込先(A) 小樽地区サッカー協会 事務局長 永坂 正 宛
〒 047-0034 小樽市緑 2-28-17
E-mail : ayano217@cocoa.ocn.ne.jp
 - ① a 参加申込書(E-mail)
※選手登録番号を必ず記載のこと。
 - ② b ユニフォームカラー報告用紙(E-mail) ※デザイン画は不可
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。
 - ③ d プライバシーポリシー同意書(E-mail)
 - ④ e 懲罰処分アンケート(E-mail)
 - ⑤ 地区予選結果(E-mail)

※所属地区サッカー協会が送ること。

大会参加料 13000 円は当日の受付時に納入すること。

申込先(B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

① 親権者同意書(郵送)

16. 組合せ 組み合わせは、道央 4 種ブロック会議において決定済み。
17. 帯同審判 参加チームは、3 級以上の公認フットサル審判員を 1 チームにつき 1 名必ず帯同させること。不帯同は認めない。帯同審判員は、チーム役員を兼ねる事ができるが、担当する審判業務を優先すること。
18. 監督会議 (1) 日 時 : 2023 年 3 月 2 日(木) 19 時 00 分から
(2) 会 場 : オンライン会議とする。会議用 URL は後日チーム連絡責任者宛てに送付する。
19. 開会式 実施しない。
20. 表彰及び閉会式 (1) 優勝、準優勝、第 3 位には表彰状及びトロフィーを授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
21. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険、またはそれに準じた保険に加入していること。
22. 新型コロナウイルス感染症対策 本競技会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者と各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
(4) 本競技会において、「会場感染対策担当者」は主管地区協会が定める。
(5) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・随行者など会場にいる全ての大会関係者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
(6) 本競技会は、感染対策のため無観客で実施する。なお、随行者の人数は(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会及び主管協会の判断にて決定する。
① 本大会における随行者の人数は、各チーム選手 1 名につき 1 名までとする。
② 随行者は、指定された観客席若しくは待機場所にて主に行動すること。
③ 随行者は、属するチームに帯同して移動すること。
④ 随行者は、ピッチに入る事は出来ない。
(7) 本大会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、大会関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
(8) 新型コロナウイルス感染症対策については、別に定める「競技運営進行・施設利用上の注意点」について、遵守すること。なお、今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。
23. その他 (1) マッチコーディネーションミーティング(以下、MCM という。)
当該試合開始 40 分前(第 1 試合のみ 30 分前)に実施する。なお、1 次ラウンド 1 試合目のユニフォームカラーの決定については、監督会議で決定する。
マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。
① FP 及び GK それぞれの正副 2 種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色 1 枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。

- ② タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (2) メンバー提出用紙
メンバー提出用紙は、各試合の MCM 時に提出すること。
- (3) 選手証
各チームの登録選手は、原則として JFA 発行の選手証を試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「 KICKOFF 」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより主管協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。
なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止 する。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (8) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。
- (9) 第3位までのチームには、JFA バーモンドカップ 第 33 回 全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道代表決定戦への参加を義務づける。ただし、優勝チーム、準優勝チーム、第3位のチームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合、第4位のチームが繰り上げて参加できる場合がある。
- (10) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、所属地区サッカー協会を通じて主管協会事務局に報告すること。(主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。)
- ① 発熱等の健康異常がおきた場合
 - ② PCR 検査や抗原検査で陽性と判定された場合
 - ③ PCR 検査の判定を待っている場合
 - ④ 濃厚接触者と判定された場合
- (11) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。

以上